



赤ちゃんは、お母さんのおなかの中で、おしっこやうんちをしているの

おしっこやうんちをしている

もちろん、赤ちゃんも生きているわけですから、お母さんのおなかの中において、おしっこやうんちをしています。でも、わたしたちがするようなおしっこやうんちを、お母さんのおなかの中に、しているわけではありません。

赤ちゃんの体は、「へそのお」でお母さんとつながっている

赤ちゃんは、自分の体に必要な酸素や栄養など、すべてのものをおなかの「へそのお」で、お母さんからもらっています。「へそのお」は、お母さんのおなかの中にある、たいばんにつながっています。「へそのお」の中には、動脈と静脈という血管があり、静脈の中の血液を通して、赤ちゃんに必要な栄養や酸素は、お母さんから送られています。そして、赤ちゃんのいらなくなったもの、つまり栄養のかすなどのごみである、おしっこやうんちにあたるものは、動脈の中の血液を通して、お母さんにわたされ、お母さんが捨ててくれているのです。（監修・保志 宏）

